



毎年、出水期前に実施している「瀬田川・野洲川水防連絡会」の野洲川現地調査において、水防災意識社会再構築ビジョンの取組である危機管理型水位計整備について、各市の水防担当者と設置予定地の現地確認を実施しました。

- 日時：平成30年6月1日（金）14：00～16：00
- 場所：野洲川 危機管理型水位計設置予定地（野洲市、守山市地先）
- 参加者：野洲川沿川各市水防担当者  
（守山市3名、栗東市2名、野洲市2名、湖南市1名）  
琵琶湖河川事務所 9名



### 危機管理型水位計設置予定地 現地確認



設置予定地での合同確認状況

### 主な質疑等

#### ●どのような水位計を設置するのか

- ・堤防沿いに設置するタイプや、橋梁添架するタイプなどがある。野洲川には堤防沿いに設置するタイプを予定している。

#### ●どのような水位情報を観測するのか

- ・平常時の水位では観測せず、高い水位のみをリアルタイムで観測する予定。

#### ●水位情報は誰でも入手できるのか

- ・沿川住民に対し、クラウドを活用して水位情報を提供する予定。
- ・水位情報は水防活動や避難行動に役立てて欲しい。



### 「危機管理型水位計」とは

洪水時の水位観測に特化した低コストの水位計であり、これまで水位計の無かった河川や地先レベルでのきめ細やかな水位を把握し、水位観測網の充実を図る目的で設置するものです。

#### 【特徴】

- 長期間メンテナンスフリー（無給電で5年以上稼働）
- 省スペース(小型化)（橋梁等へ容易に設置が可能）
- 初期コストの低減  
（洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減）  
（水位計本体費用は、100万円/台以下）
- 維持管理コストの低減  
（洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術とあわせ通信コストを縮減）

#### 開発された水位計の例



堤防に設置するタイプ  
(ケーブル(計測器)を河川に入れて計測)

橋梁に設置するタイプ  
(電波や超音波で河川に触れずに計測)

国土交通省HP 危機管理型水位計の概要⇒[http://www.mlit.go.jp/river/mizubousaivision/pdf/honshou\\_kouhyoushiryou.pdf](http://www.mlit.go.jp/river/mizubousaivision/pdf/honshou_kouhyoushiryou.pdf)

大規模水害が起こりうること、また、琵琶湖水位の影響を受け浸水が長期に及ぶことを念頭に、「自ら行動し、地域の防災力を高め」、「社会経済被害を最小化」するための取り組みを実施し、水害に強い地域を目指します。



来年2019年は、  
野洲川放水路  
通水40年！

【問合せ先】 国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 調査課  
〒520-2279 大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0844 (代表)

